

グッドスマ 第2工場

倉吉に 需要対応 100人超を新規雇用

25年春操業へ



第2工場の建設を決めたグッドスマイルカンパニー楽月工場が入居する建物＝17日、倉吉市秋喜の西倉吉工業団地



倉吉市でフィギュアなどの製造を手がける「グッドスマイルカンパニー」（本社・東京都）が、同市内に第2工場を新設することが17日、分かった。国内外で増加する需要に対応する狙いで、社員100人以上の新規雇用を計画。国内唯一のフィギュアの製造拠点である同社楽月工場（同市秋喜）に続く2カ所目の拠点となり、2025年春の操業を目指す。（本高屋修）

同社や市によると、第2工場建設予定地は同市河北町の旧倉吉木材市場跡。敷地面積約7500平方メートル、延べ床面積約4千平方メートルの鉄骨平屋（一部2階建て）を建設する。

整備計画では、市が旧木売り上げは18年度211億円から、21年度361億円と7割増加。生産体制強化が急がれる中、新型コロナウイルスによる海外生産リスクや円安トレンドを考慮し、国内生産拠点を強化を決めた。第2工場では楽月工場と

同様にフィギュアやプラモデルを製造する予定。工場新設に伴って100人規模の新規雇用を行い、将来的には220人規模まで増やすという。

同社にはフィギュア造形や倉吉市に魅力を感じて国内外から移住してきた社員も多い。同工場の谷本哲也工場長は「オンラインワンの魅力を生かしてさらに人を呼び込みたい」と話し、市商工観光課の毛利徳敬次長は「雇用の確保に向けても支援していく」と語った。

同社は「まんが王国」の取り組みに関連して鳥取県が14年に誘致。「ねんどろいど」シリーズなどをヒットさせ、当初20人程度だった社員は130人まで増加した。倉吉のほか、中国にも生産拠点を構える。

同日、定例会見で計画を明かした平井伸治知事は「新工場設置は電子機器など地元企業とのコラボを生む可能性もある。市の動きを県としても支援していく」と語った。